

未来を開く

長井市立長井北中学校

No34 令和5年12月15日

響かせよう！北中サウンドを

12月11日(月)、全校朝会で全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選に向け、吹奏楽部の壮行演奏が行われました。12月16日(土)高島町文化ホール「まほら」で行われる本番には、管楽5重奏として1年生5名、管打6重奏として2年生6名が出場します。

吹奏楽部の皆さんにとっては、1・2年生だけで臨むコンテストはこれが初めてです。練習の成果を精一杯発揮し、自分達らしい北中サウンドを響かせてほしいと思います。



アルミ缶回収について 表彰を受けました

北中で取り組んでいるアルミ缶回収について、貴重な資源のリサイクルと美しい自然環境の保全に取り組んできたこと、その取組が特に優秀であることが認められ、全国的な組織である「アルミ缶リサイクル協会」から優秀校として選出(再選)され、表彰を受けました。

表彰式当日は、アルミ缶リサイクル協会本部(東京)からお越しいただいた中島計様より、(株)北原産業 専務取締役 北原哲様の同席の下、北中生徒会 ボランティア委員長 勝見瑠那さんに賞状と記念品が授与されました。

中島様からは、北中の取組に対する感謝の言葉をいただくとともに、アルミ缶回収の意義等についてもお話いただきました。日本はアルミ缶の回収率が93.9パーセントであること、アルミ缶回収を行うことで、①資源の有効活用 ②エネルギー使用の減少 ③CO₂排出の減少による環境保全 ④ごみの排出量減少につながることをお聞きしました。

最後に、ボランティア委員長 勝見瑠那さんからは、お礼とともに、北中の伝統としてつないでいくこと、活動をとおして地域社会に貢献していくことなどの新たな決意の言葉がありました。



広がれ！ 支援の輪

12月11日(月)から始まった海外支援活動。昇降口に置いてある寄付品回収ボックスには、続々と寄付の品が集まっています。文具やぬいぐるみが多いようです。

前回の学校だよりも掲載しましたが、取組期間は12月20日(水)までです。三者面談が行われている期間でもありますので、是非、お家の方々にもご協力いただければと思います。よろしくお願いいたします。



長井市長講話が実施されました

12月13日(水)、3年生を対象に長井市長による講話が実施されました。「長井市で暮らし、北中生として学ぶ皆さんに長井市長として伝えたいこと」と題して、約40分に渡りお話をいただきました。

現在、長井市は何を目指し、どんなことに挑戦しようとしているのか、そのことを知り、そのことから、未来の長井市・日本・世界を考え、新しい世界に羽ばたいてほしいという願いを込めた話でした。

グローバル社会、SDGs、カーボンニュートラル(脱炭素社会)、政治・経済・社会の観点から見た世界の現状と課題、人口減少から見た日本の現状と今後、長井市が目指す未来などについて、具体的なお話をお

聞きすることができました。

長井市が目指す未来に関わっては、次世代を担う若者に選んでもらう長井市にするために、○都市型機能の充実、中心市街地活性化と支え合う地域社会づくり ○コンパクトシティと小さな拠点、地域公共交通の充実 ○ダイバシティとインクルージョン社会の構築などの考えをイメージできる図や写真などを交えながらお話いただきました。

最後に質問の時間があり、たくさんの北中生が挙手をしました。「発案者はどんな人?」「『くるんと』の遊び場を無料で使える理由?」「自分はどんな子育て支援を受けてきたか?」「自分の地域の足下を見る、どんなことを見ればよいのか?」「市長自身は長井市を好きか?」「タブレットのスペックを上げてほしい」などの質問・意見が出されました。

長井市のことを知る機会になるとともに、自分の生き方を考えるととても貴重な機会になりました。

